

第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと合わせてご活用ください。

～デフレの先行きと打ち出される経済政策の効果を分析しています。

2009/11/30 「[危機されるデフレの長期化 ～需要不足は大きく、外需など経済のパイの拡大が必要～](#)」

2009/11/19 「[子供手当を含む一連の施策が世帯所得に与える影響 ～子二人・専業主婦世帯のケースでみる所得税・住民税控除廃止による家計負担増～](#)」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～世界の金融市場動向を分析し今後の課題を明らかにします。

2009/11/26 「[2010年の市場環境見通し ～循環的回復の限界近く、各国政府の追加策がカギ～](#)」

掲載カテゴリ：畠峰義清の「マーケットウォッチング」

～再びデフレを宣言するに至った日本経済について分析し、脱却への道を探ります。

2009/12/1 「[名目GDPを反転上昇させる方法 ～グローバル化を目指す設備投資を支援～](#)」

2009/11/20 「[政府のデフレ宣言をどうみるか ～デフレは景気循環に遅れて構造的に起こる～](#)」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～回復トレンドが注目される海外経済のこれからとその課題を分析します。

2009/12/1 「[米国：2009、2010、2011年経済見通し ～2010年後半に成長ペース鈍化～](#)」

2009/11/20 「[ユーロ圏：2009～2011年経済見通し ～2010年後半にミニ調整の後、2011年入り後は本格回復へ～](#)」

2009/11/19 「[アジア：短・中期経済見通し（2009年11月版）～世界に先駆けて景気底打ちを果たし加速基調へ。世界での存在感は一段と高まる～](#)」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

編集後記

あけましておめでとうございます。本年も皆様の関心が高い経済のテーマについて、よりお役に立てる分析が提供できるよう努めます。これまで同様、第一生命経済研究所ならびに経済研レポートをご愛顧のほど、よろしく願いいたします。



株式相場の格言では丑年（2009年）は「つまずき」、寅年（2010年）は「千里を走り」である。日本経済は欧米とともに何とか底入れしたが、株価は一人つまずいている有様。そこで年明け早々から気が早いのが、来年（2011年）の干支である卯年相場の格言、「跳ねる」に期待したい。ただ為替相場が円高に跳ねるのは願い下げだ。過去二年間で対ドルでは約二割の円高。対人民元でも15%を超える円高で、これは同期間の中国の実質GDP成長率（為替水準とも2009年12月の月初時点）に匹敵する。円高に助けられ、日本のGDPが仮にドル換算で世界第二位の座を守れたとすれば……。初夢にしても儂いか。（H. U）